



あおば社協だより

2018年8月
発行

赤い羽根共同募金

ご協力をよろしくお願いいたします。



赤い羽根共同募金運動の期間 **10月1日**(月)～**12月31日**(月)

10月1日(月)・2日(火)・3日(水)は、区内の駅頭にて募金活動を行います。また、各自治会町内会を通しての募金もお願いしております。

いただいた募金は、社会福祉施設・団体等に配分をします。また、ボランティア活動・地域活動を支援する「あおばふれあい助成金」の財源としても活用されます。平成30年度は134のボランティア・地域活動団体にふれあい助成金を配分しております。地域の中での助け合いを深めていくため、共同募金にご協力をお願いいたします。



お問合せ：青葉区社会福祉協議会 ☎045-972-8836 担当：日向野・加藤

ご報告

ボランティア・市民活動団体等分科会

生活支援・集いの場の連絡会を開催しました。



昨年度開催の第2回ボランティア・市民活動団体等分科会(生活支援ボランティアにテーマを絞って開催)での意見を踏まえ、「ニーズとどのようにつながるか？」をテーマに、生活支援ボランティア団体だけでなく、高齢者の集いの場ボランティアの参加を得て、情報共有・ネットワークづくりの場を8月6日(月)に設けました。

会議の中では、ニーズとのつながりを考えるため、介護保険で専門的なサービスを利用しながら、地元のつながりの中で生活している Aさんの事例を元に話し合いました。

話し合いの中で、必要としている人に活動をつなげるためには、ケアマネジャーや自治会・民生委員などに地域の活動を知らせるというアイデアや、地域情報の集約・発信、通院先の待合室でのつながりづくり…などアイデアが多く出されました。

制度で定められたサービスとは異なり、地域のつながりは馴染の関係で『Aさんらしさ』を支え、共感をベースに、困ったときには受け止めてくれる情緒的なサポートを担っています。今後、ますます、この網の目を細かくし、両側面の支援を一体的に展開していくことが求められています。次回は、この横のつながりづくりに向けて、ケアマネジャーとの意見交換会の機会を持ちたいと思います。



お問合せ：青葉区社会福祉協議会 ☎045-972-8836 担当：関沢



こどもの居場所づくり連絡会

地域の中でこどもが安心できる居場所・多世代の交流によりつながりが深まる活動など、こどもの居場所活動に取り組まれている団体の連絡会を、7月26日(木)に開催しました。団体同士の横のつながりを深めることを目的に、団体同士の活動紹介、グループでの情報交換を実施しました。

参加団体 11団体

こども食堂

学習支援・
フリースペース

- ①あおばこども食堂
- ②まんぷくひろば
- ③たまプラごはん
- ④かもマチ食堂
- ⑤ナナ食堂
- ⑥ノヴィーニエ



- ①もえぎ野フリー学習スペース
- ②すすき野中学校放課後学習教室
- ③フリースペースあおば
- ④ぶらボラ
- ⑤横浜みどりの学校ひまわり

①参加団体紹介

活動内容・活動の雰囲気などを、各団体の代表に紹介していただきました。参加者同士の交流の様子・こどもの成長の見守りなど、活動のやりがいも共有。



②グループごとの情報交換

「他団体に聞いてみたいこと・アドバイスがほしい悩みごと」をテーマに情報交換。参加の呼びかけや周知の方法、メンバー内での活動目的の共有方法、こどもたちの帰宅時の送迎、こどもたちとの交流や声掛けの内容、地域とのつながり、ボランティア側の達成感やモチベーション、個性に合わせた学習支援、居場所と学習支援のバランスなどを、グループ内で話し合い深めました。



各団体は地域のお子さんたちの参加を心待ちにしています。内容、参加方法については下記の間合せまで。ボランティアも募集中です。

お問合せ：青葉区社会福祉協議会

☎045-972-8836

担当：関沢・河村

【お問合せ・各種ご相談】

社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会

TEL:045-972-8836 FAX:045-972-7519

E-mail:info@aosha.jp http://www.aosha.jp

〒225-0024

青葉区市ケ尾町 1169-22 青葉区福祉保健活動拠点「ふれあい青葉」



「社会福祉協議会」は住み慣れた地域社会の中で、「だれもが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」という活動理念のもと、住民やボランティア・市民団体の方々などと一緒に、地域福祉活動を中心に様々な活動を展開する民間の団体です。(社会福祉法第 109 条に位置付けられています)

